

広域評価参加基準の見直しについて

1. 評価区分について

- ・現在繁殖形質において4つの評価区分で評価を実施しています。（産肉形質は1区分のみ）
- ・全品種全国評価を目指していますが、農場同士の全国的な血縁関係が繋がっていないので、まずは血縁関係が認められるグループや地域を血縁グループとして評価を実施しています。

	評価基準	特記事項	評価全体に占める割合 (2025年4月評価)
①全国評価	育種価が全国同一基準なので、全国どこの農場の個体同士でも比較が可能	B種のみ実施。L種、W種、D種は全国的な血縁が繋がっていないため未実施	B種のみ100%、L種、W種、D種は0%
②広域評価	育種価は広域評価内の農場の個体同士で比較が可能	血縁関係が認められたグループを都道府県を超えた広域的な血縁グループとして評価を実施	L種-9% W種-15% D種-38%
③地域内評価	育種価は地域内（都道府県内）の農場の個体同士で比較が可能	実施要望があり、血縁関係が認められる都道府県について地域内の評価として実施（沖縄県、群馬県で実施）	L種-2% W種-2% D種-2%
④農場内評価	育種価は農場内の個体同士のみ比較が可能		L種-89% W種-83% D種-60%

2. 広域評価参加基準について

- ・毎年血縁調査を実施し、新たに参加基準を満たした農場に対して参加を要望しています。
- ・今回7月評価より参加基準を以下の通りより細かく見直すことで更に参加農場の拡大が期待できます。

広域評価参加条件	変更前	変更後
【5%基準】広域評価農場のいずれかの農場と平均血縁係数が5%以上で繋がりが認められること	○	○
【4%基準】5%基準には該当しないが、広域評価農場のいずれかの農場と平均血縁係数が4%以上で繋がりが認められた上で、その他の広域評価農場のうちいずれかの農場と3%以上で繋がりが認められること	×	○

(例)	広域評価農場			参加の可否	
	A農場	B農場	C農場	変更前	変更後
X農場	5%	2%	1%	○	○
Y農場	4%	2%	3%	×	○
Z農場	4%	1%	1%	×	×

○広域評価に参加するメリット・デメリット

【メリット】

- ・広域評価内での自農場の成績が把握できます。
- ・広域評価内同一基準の育種価なのでお互いデータを持ち合えば、育種価を比較し、広域農場からの種豚や精液の導入選定の目安に利用できます。

【デメリット】

- ・特にありません。原則、自農場以外に公表されませんので、他農場に自農場の成績を閲覧されることはありません。

広域評価への参加要望があった際は是非ご協力をお願いいたします。

